

2025年度 東海大学大学院 第1回 家族看護研究会

東海大学大学院家族看護学研究室では、
家族看護を様々な理論やツールを用いて分析しています。

今回は、家族看護の基本となる『**家族システム論**』を用いて分析し、
事例に適したアプローチ方法を検討します。

骨髄増殖性腫瘍から急性白血病へ移行した経営者の60歳代男性。化学療法が効かなくなり、本人は治療終了を希望するが、家族は治療継続を切望し患者を説得している。

退院調整看護師は本人・家族ともに納得して治療選択が出来るよう関わりたいと模索している。

プロフィール：児玉久仁子（家族支援専門看護師/博士(医学)）
東京慈恵会医科大学卒業。2010年家族支援専門看護師資格を取得。現在は、医療法人有隣会わかさ病院で相談員を務めつつ、東海大学医学部看護学科の研究員として教育研究を行っています。



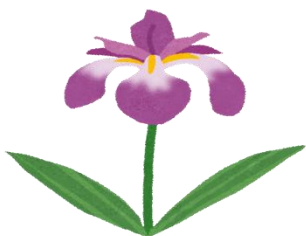
【日時】2025年5月31日(土)

【時間】13:00～16:00

【方法】対面での開催

【会場】東海大学伊勢原キャンパス 3号館

※参加ご希望の方は当日会場へお越しください。事前申し込みは不要です。



問合せ先：東海大学家族看護研究会事務局担当（小泉）

ホームページ：<https://kazokuns-tokai.jp/>

メールアドレス：contact@kazokuns-tokai.jp

電話：0463-93-1121（代表）